

アドミッション・ポリシー

平成 29 年 12 月 19 日
学長決定

1. 大学全体のアドミッション・ポリシー

リハビリテーション領域で活躍したいという夢を抱き、培った知識・技能を通じて社会に貢献しようという強い意志をもつ人

2. 学部のアドミッション・ポリシー

(1) リハビリテーション領域における専門知識や技術を身につけるための学力を有し、生涯にわたって学び続けることができる人

(2) 他者への思いやりと協調性をもち、柔軟にものごとを考え、主体的に行動できる人

(3) 医療を通じて地域社会の人々と深く関わり、努力を惜しまず、心から寄り添い支援できる人

3. 各専攻のアドミッション・ポリシー

(1) 理学療法学専攻

「からだの動き」を科学することに興味がある人

(2) 作業療法学専攻

「「こころ」と「からだ」の生活行為」を科学することに興味がある人

(3) 言語聴覚学専攻

「ことば・聴こえ・嚙下^{えんげ}」を科学することに興味がある人

4. 各入試区分のアドミッション・ポリシー

(1) AO 入学試験

専門知識を理解できる基礎学力を有し、継続した学習習慣を身につけることができる人。またすべての人と円滑なコミュニケーションが図れ、さらに自己の意見を正しく表現でき他者を尊重できる人

(2) 推薦入学試験

① 公募制推薦入学試験 【学校長推薦型】

高校生活において、勉学や課外活動等に励み、リハビリテーション領域に興味を持つ人

② 公募制推薦入学試験 【高等学校卒業程度認定試験合格者対象】

【自己推薦型】

学習習慣を身につけ、様々な社会活動を通じて、リハビリテーション領域に興味を持つ人

③ 指定校制推薦入学試験

本学が指定する高等学校において優秀な成績を修め、リハビリテーション領域に従事することを希望し、率先して学習に取り組む意欲のある人

(3) センター試験利用入学試験

専門知識を理解し、技術を修得することのできる学力が備わった人

(4) 一般入学試験

専門知識を理解し、技術を修得することのできる学力が備わった人

(5) 社会人入学試験

様々な職業経験を通じて、リハビリテーション領域に従事する資質を持つ人

(6) 編入学試験

様々な領域の学業を通じて、リハビリテーション領域に従事する資質を持つ人

※ 上記の各入試区分のアドミッション・ポリシーに基づく、各入試の内容及び評価方法は別途定める。

附 則

このポリシーは、平成 29 年 12 月 19 日から施行し、平成 31 年度入学試験から適用する。

各入学試験の基本方針

(1) AO 入学試験

受講能力試験、面接及び調査書により、多面的、総合的に選抜を行う。受講能力試験は、大学教員が行う模擬授業を聞き、その内容を問う筆記試験により理解力を評価する。面接では、リハビリテーション専門職にふさわしい資質、意欲及びコミュニケーション能力を備えているかを評価する。調査書では、高等学校在学中の学習成績の他に意欲的に取り組んだ活動やその実績、出席日数や取得した資格等を重視し、評価する。

(2) 公募制推薦入学試験 A～B 日程の基本方針

基礎学力試験、面接及び調査書又は自己推薦書により、多面的、総合的に選抜を行う。基礎学力試験は、国語、数学、英語の中から選択した1科目について、高等学校の学習範囲を中心に学力（知識、思考力）を評価する。面接では、リハビリテーション専門職にふさわしい資質、意欲及びコミュニケーション能力を備えているかを評価する。なお、学校長推薦型の調査書では、高等学校在学中の学習成績の他に意欲的に取り組んだ活動やその実績、出席日数や取得した資格等を重視し、評価する。高等学校卒業程度認定試験合格者対象自己推薦型の自己推薦書では、社会活動の実績や文章表現力等を重視し、評価する。

(3) 公募制推薦入学試験 C 日程の基本方針

小論文、面接及び調査書又は自己推薦書により、多面的、総合的に選抜を行う。小論文では文章力、理解力、思考力、表現力を評価する。面接では、リハビリテーション専門職にふさわしい資質、意欲及びコミュニケーション能力を備えているかを評価する。なお、学校長推薦型の調査書では、高等学校在学中に意欲的に取り組んだ活動や実績、出席日数や資格等を重視し、評価する。高等学校卒業程度認定試験合格者対象自己推薦型の自己推薦書では、社会活動の実績や文章表現力等を重視し、評価する。

(4) センター試験利用入試 A 日程の基本方針

大学入試センター試験の成績により選抜を行う。生物、数学、国語、英語の4科目の中から選択した1～3科目の学力（知識、思考力）を評価する。

(5) センター試験利用入試 B～C 日程の基本方針

大学入試センター試験の成績により選抜を行う。数学、国語、英語の 3 科目の中から選択した 1～2 科目の学力（知識、思考力）を評価する。

(6) 一般入試 A 日程（学科選択方式）の基本方針

本学独自の科目試験の成績により選抜を行う。生物、数学、国語、英語の 4 科目の中から選択した 1～3 科目の学力（知識、思考力）を評価する。

(7) 一般入試 A 日程（センター試験併用方式）の基本方針

大学入試センター試験の成績と本学独自の科目試験の成績により選抜を行う。生物、数学、国語、英語の 4 科目の中から選択した 1～3 科目の学力（知識、思考力）を評価する。

(8) 一般入試 B～C 日程の基本方針

本学独自の科目試験の成績により選抜を行う。数学、国語、英語の 3 科目の中から選択した 1～2 科目の学力（知識、思考力、表現力）及び面接により、総合的に評価する。面接では、リハビリテーション専門職にふさわしい資質、意欲及びコミュニケーション能力を備えているかを評価する。

(9) 社会人入学試験 A～C 日程の基本方針

小論文及び面接により、多面的、総合的に選抜を行う。小論文では、文章力、理解力、思考力、表現力を評価する。面接では、様々な職業経験や社会活動を通じてリハビリテーション領域に貢献しようとする強い意思を持った者について、リハビリテーション専門職にふさわしい資質、意欲及びコミュニケーション能力を備えているかを評価する。

(10) 編入学試験 A～F 日程の基本方針

面接のみにより選抜を行う。面接では、様々な領域の学業を通じて、リハビリテーション領域に貢献しようとする強い意思を持った者について、リハビリテーション専門職にふさわしい資質、意欲及びコミュニケーション能力を備えているかを評価する。